

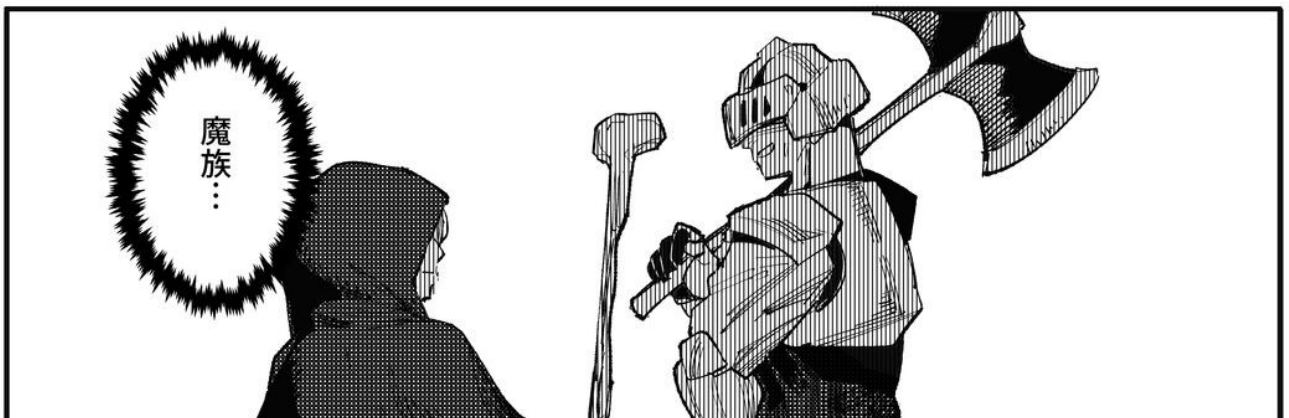
刻まれる降伏文書  
～調教済みの幼い子宮に～

# 精 隷 牢 獄

ニエーヒル

Humorist







巨大な体と  
同じほどに  
巨大な頭

嗜虐的な  
腐った吐息

胎を押しつぶす  
凶悪な形のペニス

ソ  
カ  
ラ  
ミ  
ソ  
カ  
ラ  
ミ

鎖の  
冷たい縛め

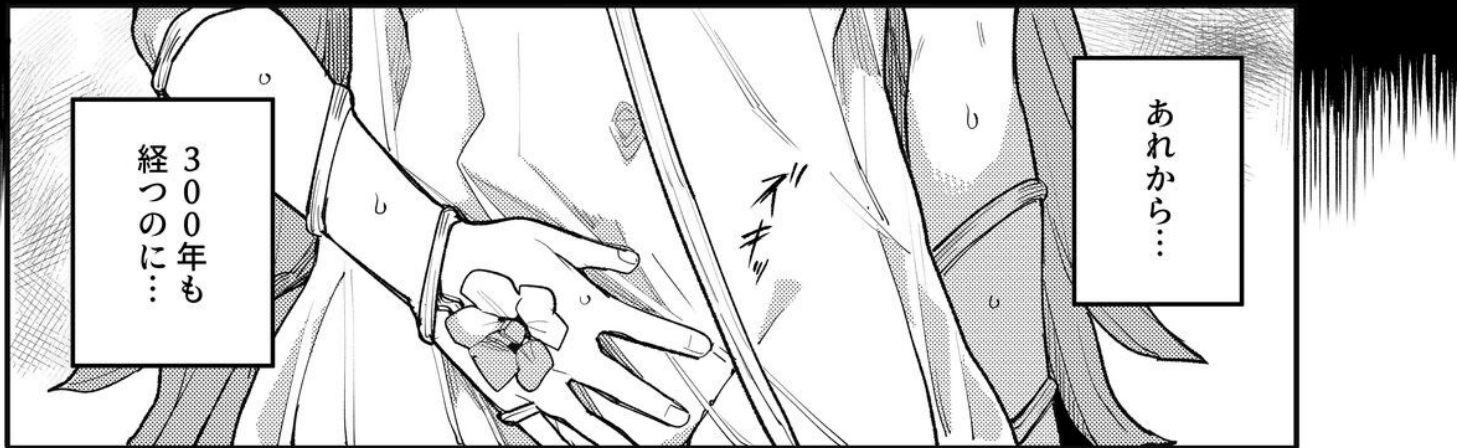
思い知らされる  
女の非力さ

そして…



あれから…

300年も  
経つのに…

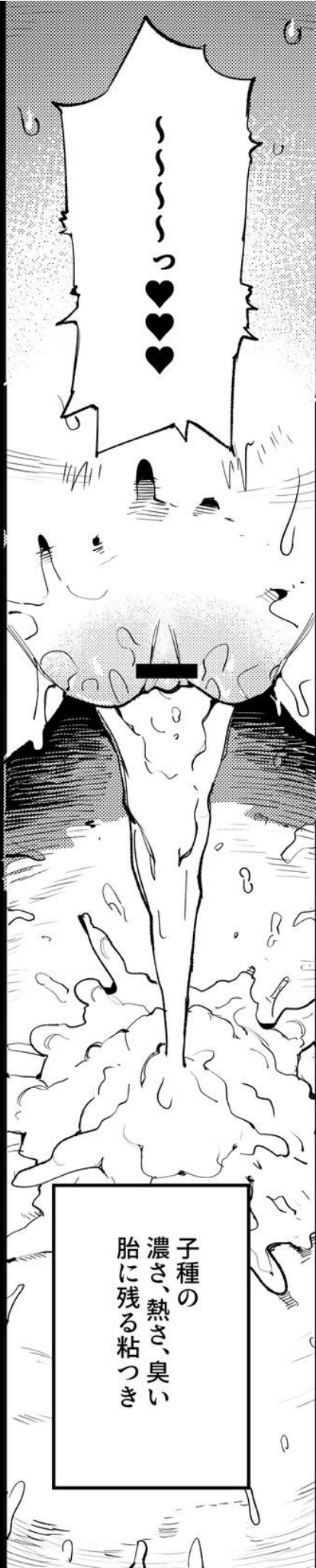




ぐっ♡

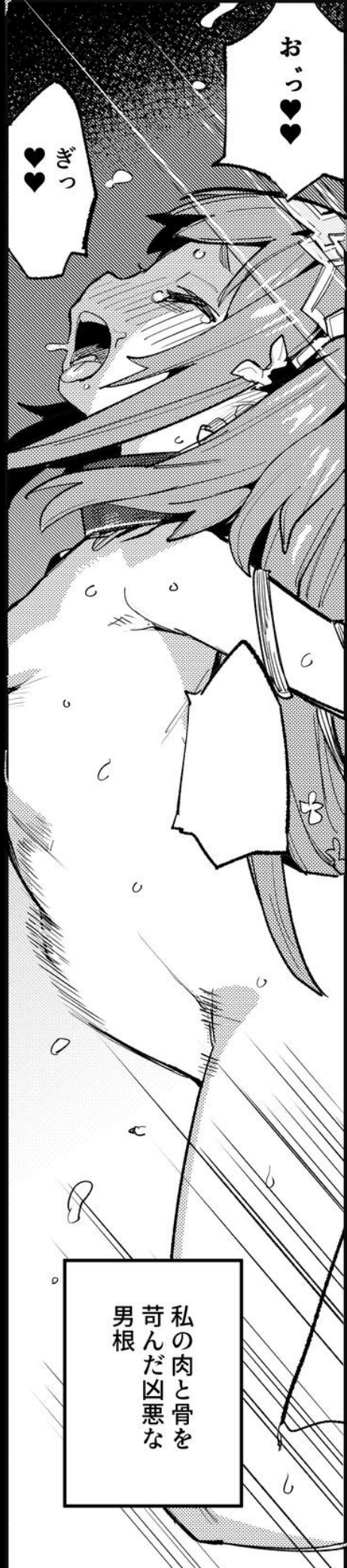
んっ♡

邪悪な媚薬による屈辱的な発情



~~~~♡♡♡

子種の濃さ、熱さ、臭い胎に残る粘つき



おっ♡♡

♡♡きっ

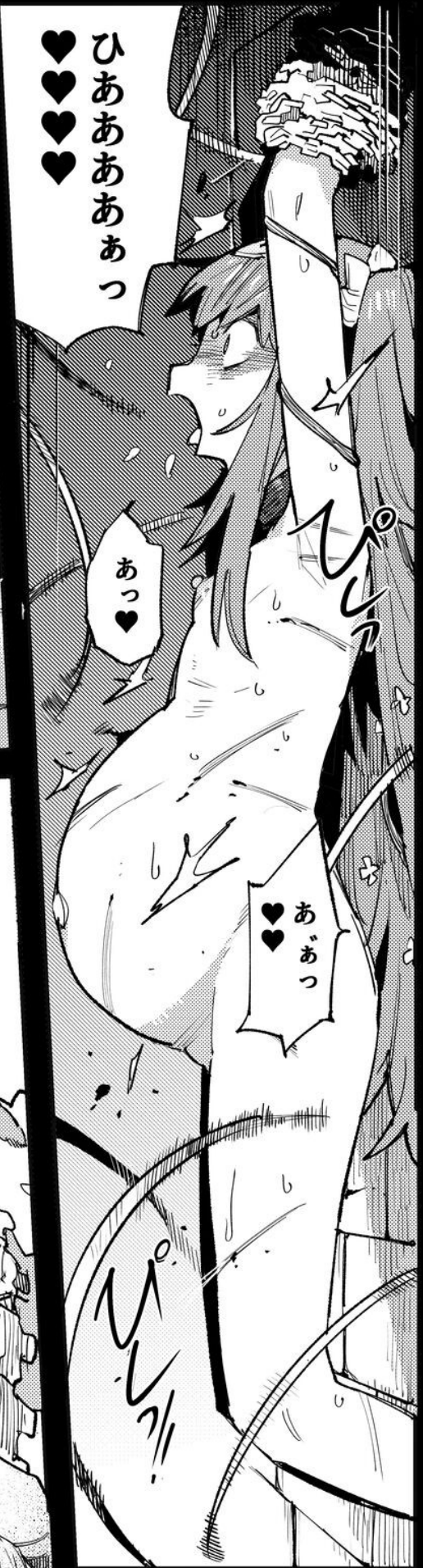
私の肉と骨を苛んだ凶悪な男根



胎に詰め込まれた  
精液を排泄する  
ことすら許されず



面白半分に  
絶頂させられ  
続ける



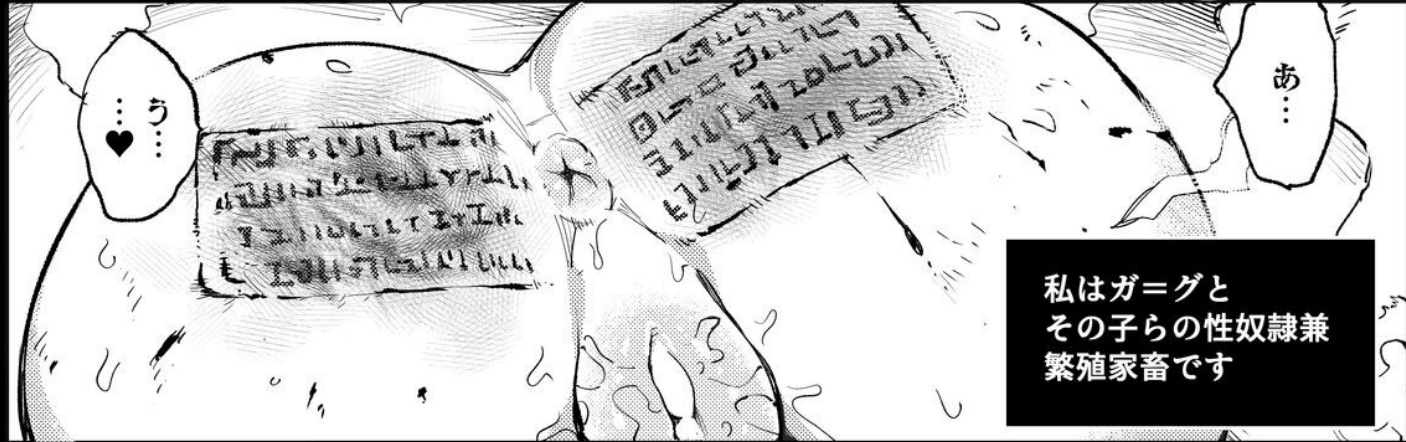
ひあああああっ  
♡♡♡♡

ひにゃああああ  
あぁっ♡♡♡



ひぎゃあああああ  
❤️❤️❤️

魔山の溶岩で  
熱された呪詛を  
刻まれた



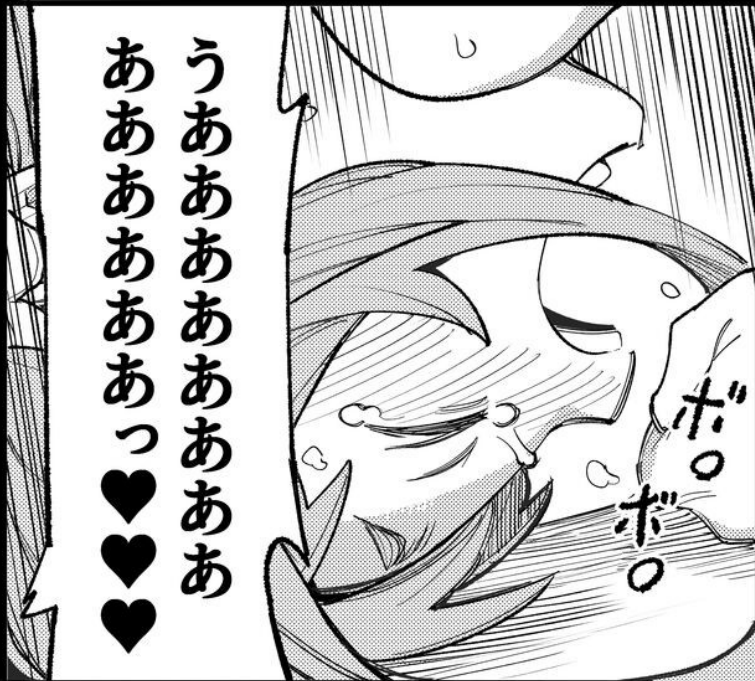
私はガグと  
その子らの性奴隷兼  
繁殖家畜です



肉の子らと  
同じように  
仔を孕んだ



私の体は  
墮落し――



うあああああああ  
あああああ  
❤️❤️❤️

ポ。  
ポ。



難産は  
七日七晩  
続いた

ぎっ

ひぎっ

んぐううっ



ぎゃああ  
あああ

ひぎっ

私の体は  
必死に出産を  
拒絶した



その後  
巨大頭は  
討伐され

私は  
助けられた



私は  
一匹の魔物を  
産み落とし…

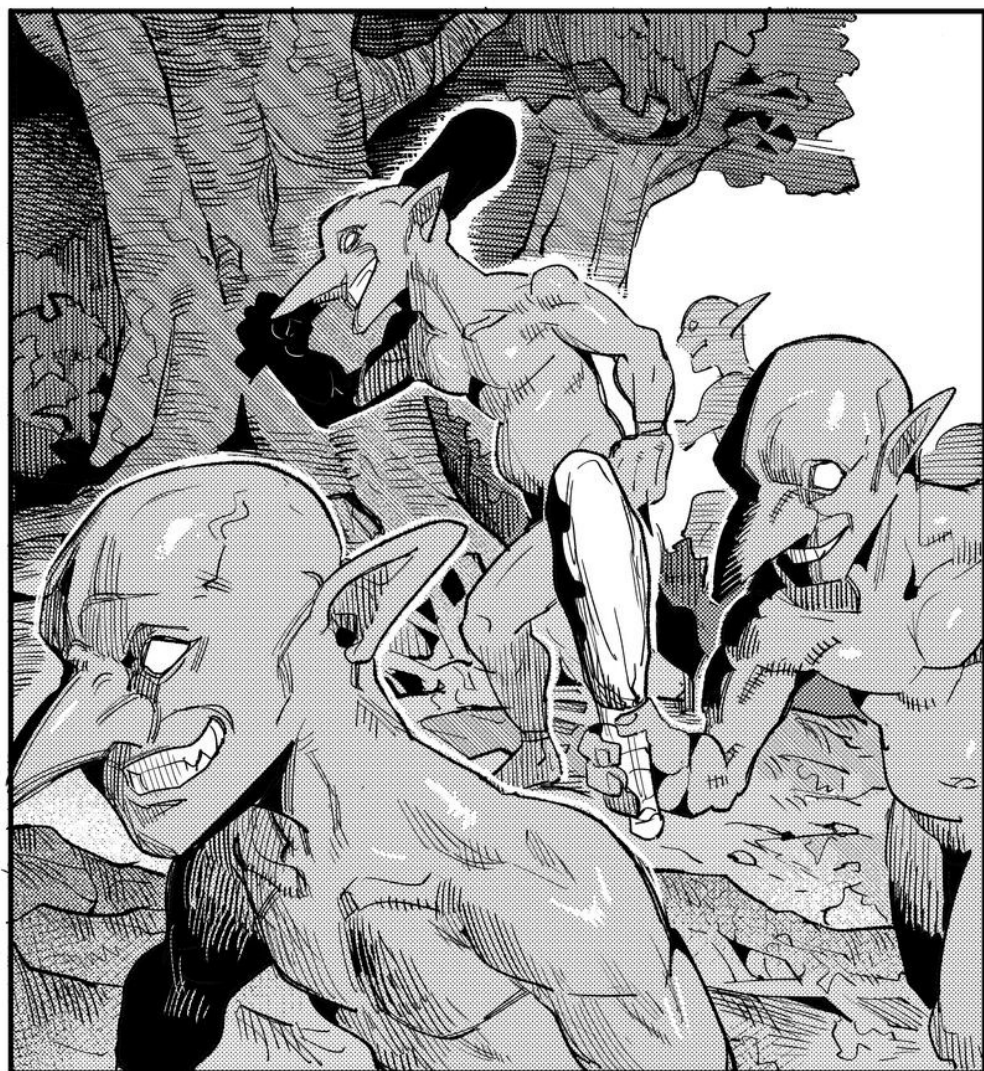
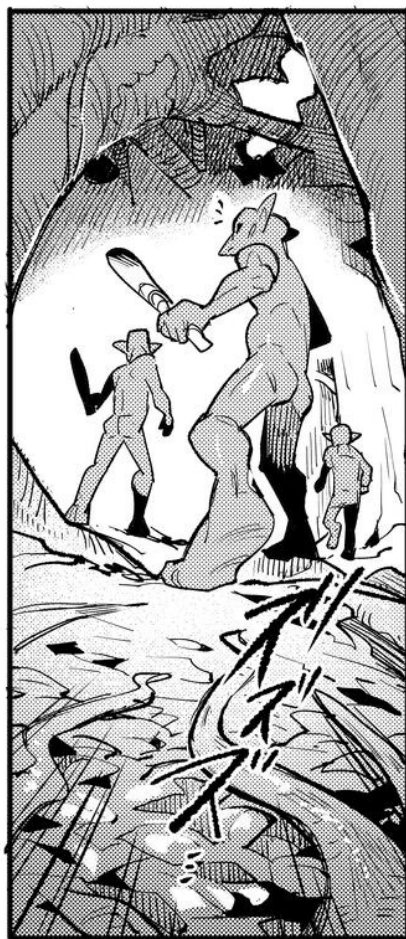
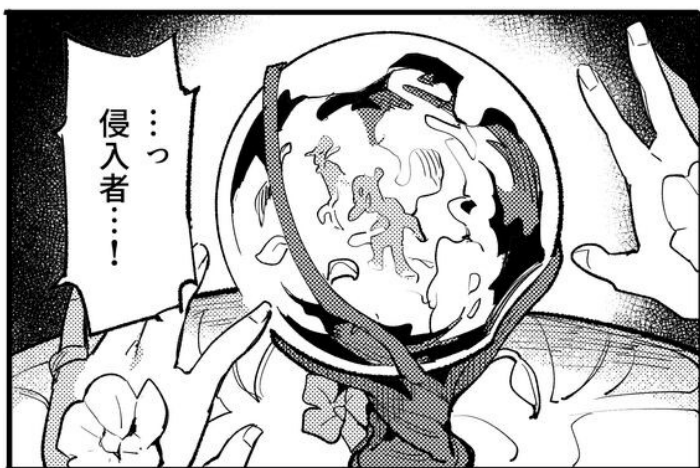
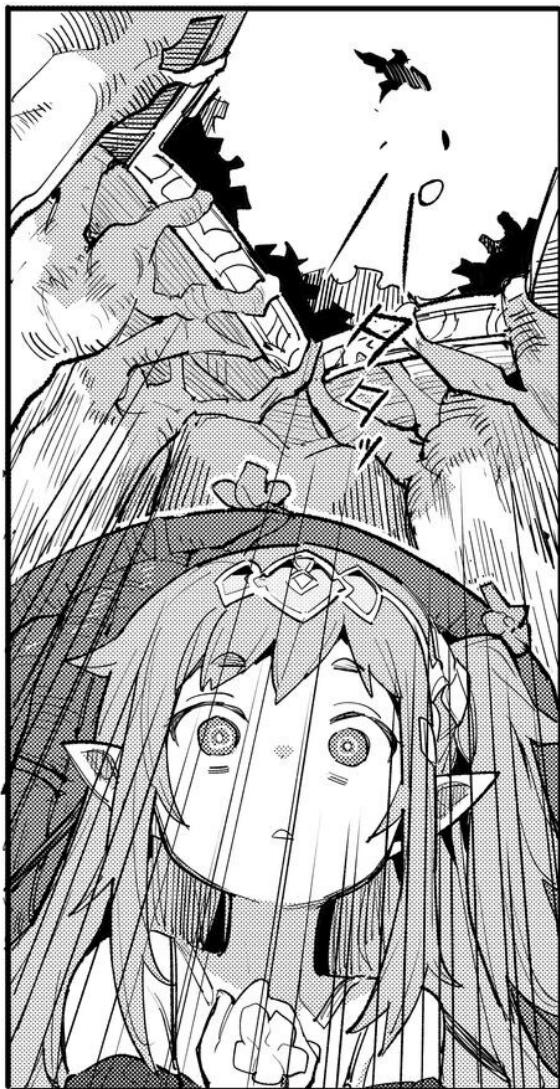
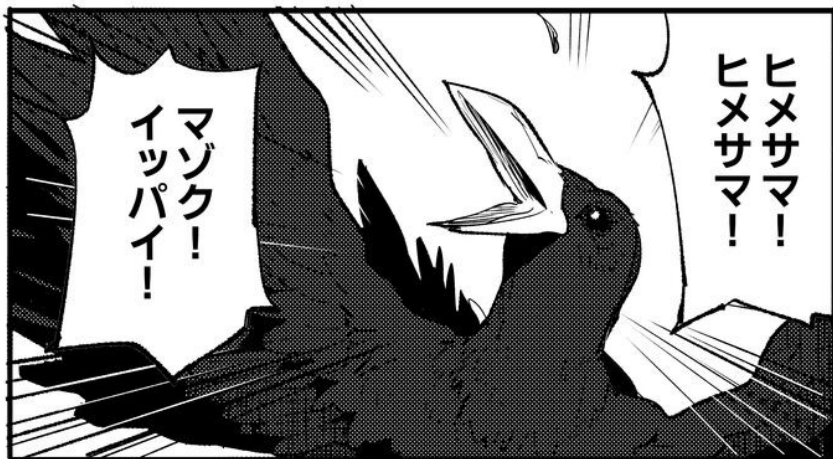
ズギイイイイイッ!

ズギイイイイイッ!



そう  
もう終わった  
こと

——でも  
本当に?





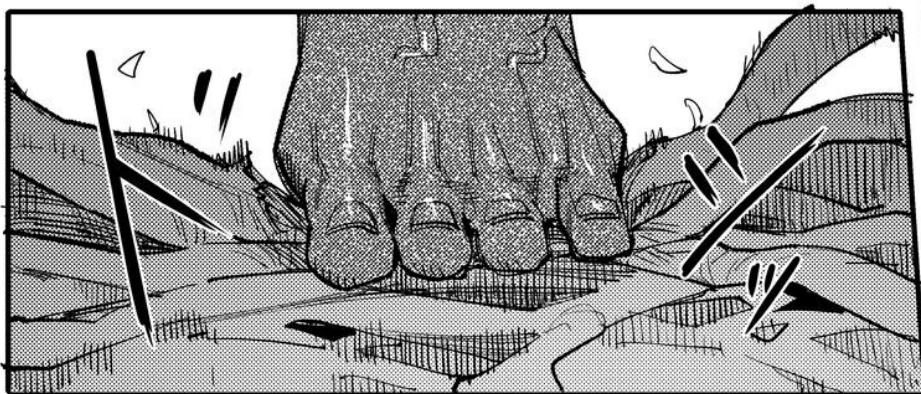
オオオオオツ!

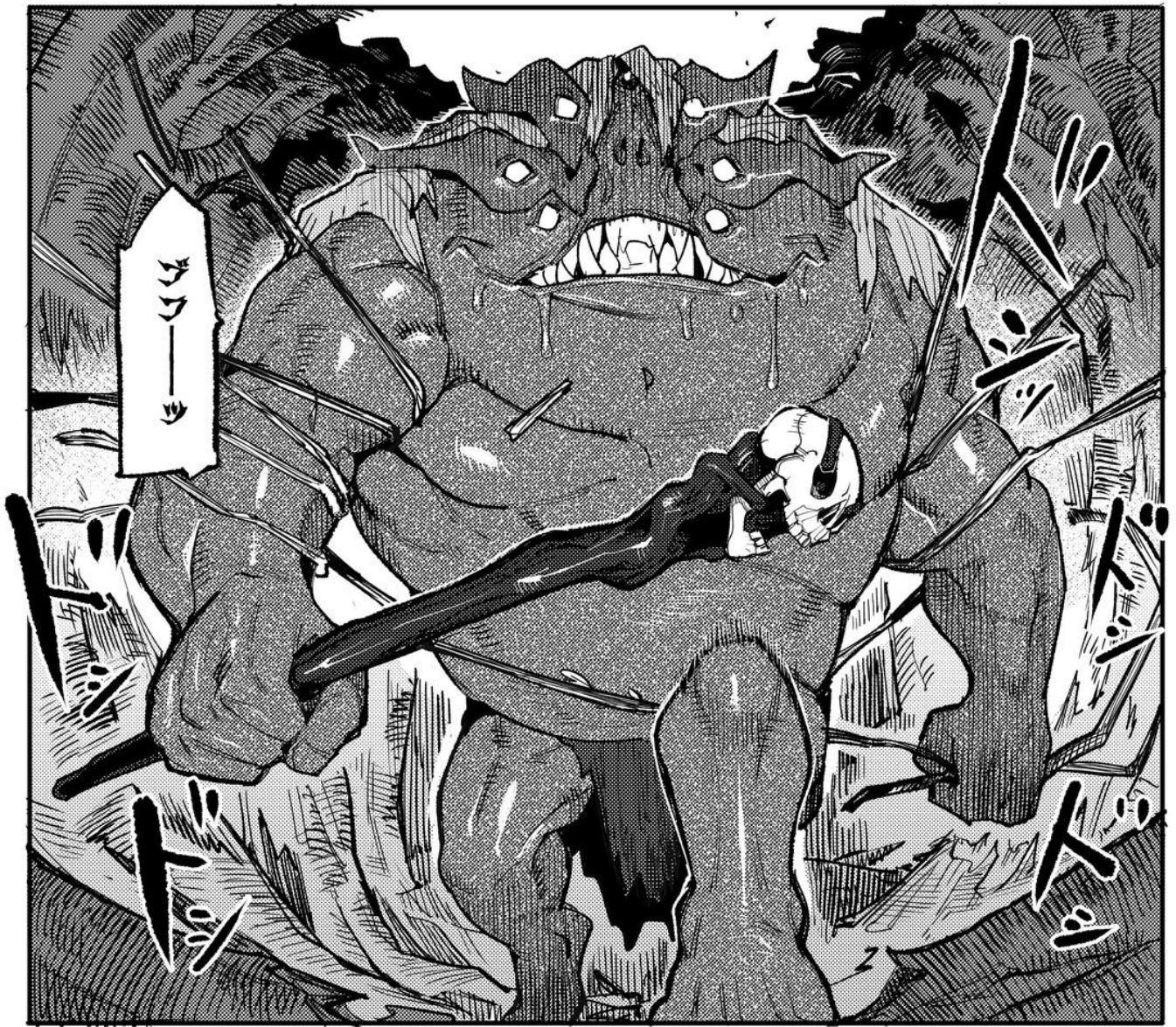
キイイイイイ  
! ! ツ ! ?



ウオオオオオツ!

キキ  
ヤヤ  
ババ  
ツツ







魔術っ  
…!?

嘘…っ!  
!



だから彼らは  
執拗に  
私たちのような  
精霊を付け狙う

精霊や  
妖精を母胎と  
しなければ

魔術を使う  
強力な魔族は  
産まれない



あの時の  
…?

まさか



私と  
魔族の仔

わたし  
母胎を  
迎えに…



私が犯され  
征服された証

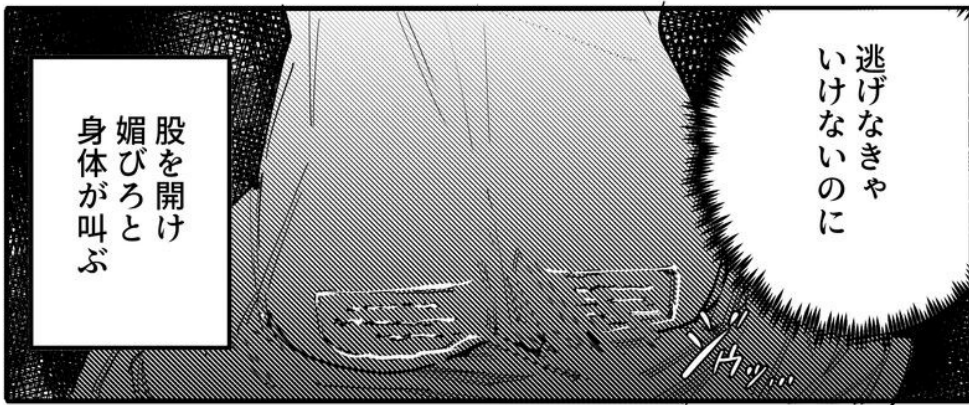
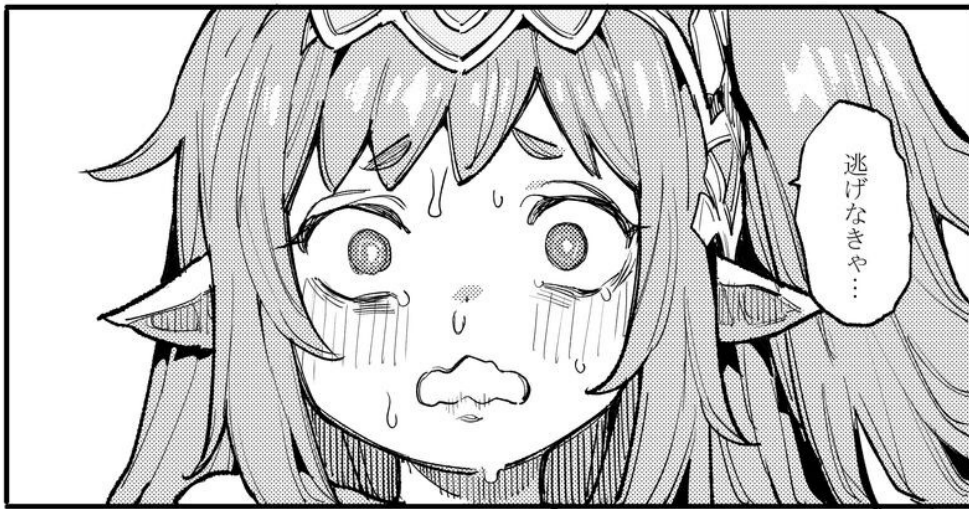
私が卵子を作り  
私の子宮に宿り

私が  
臍の緒で育み  
私が膣から  
産んだ

私自身が  
魔力を与え  
産道で敗北を  
認めた

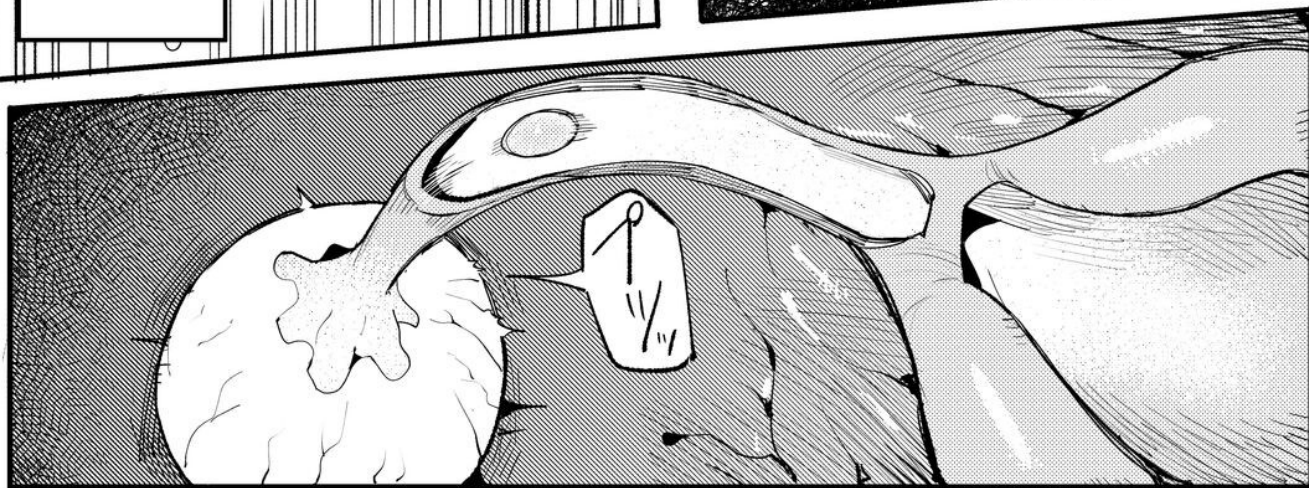
女としての機能で  
魔族に最大の奉仕を  
行った証明

存在しているだけで  
私が魔族に犯された  
ことを喧伝する  
私の恥部そのもの





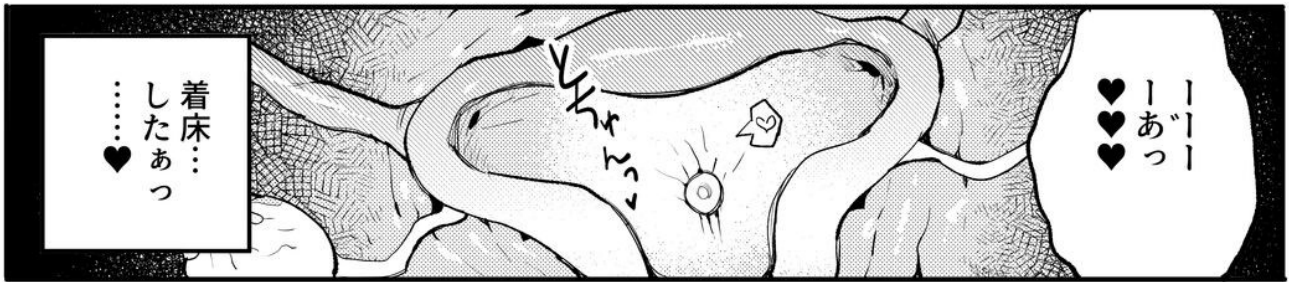















私は度重なる  
尊厳の陵辱を受け  
恐ろしい性的な拷問に  
よって敗北した

この胎を  
子種を吐き捨てる  
便器であることを  
認める

暗闇の中  
永久に鎖で  
繋ぎ止められ

あらゆる男根を  
この淫乱な膣穴で  
慰める

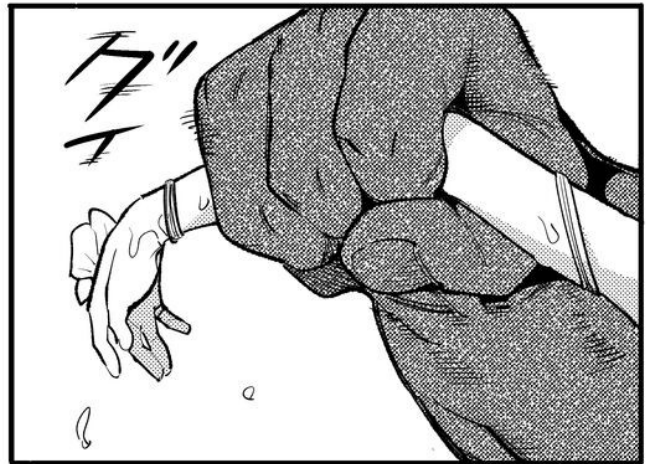
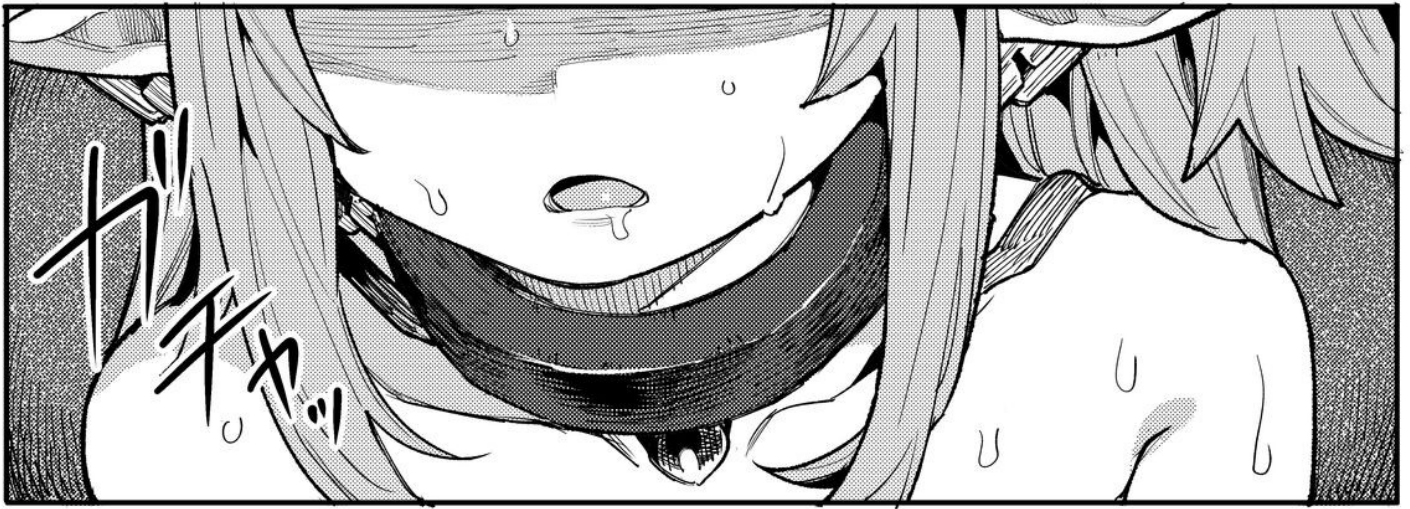
悍ましき闇の  
ものどもによって  
私の肉は被虐の  
悦びに目覚めた

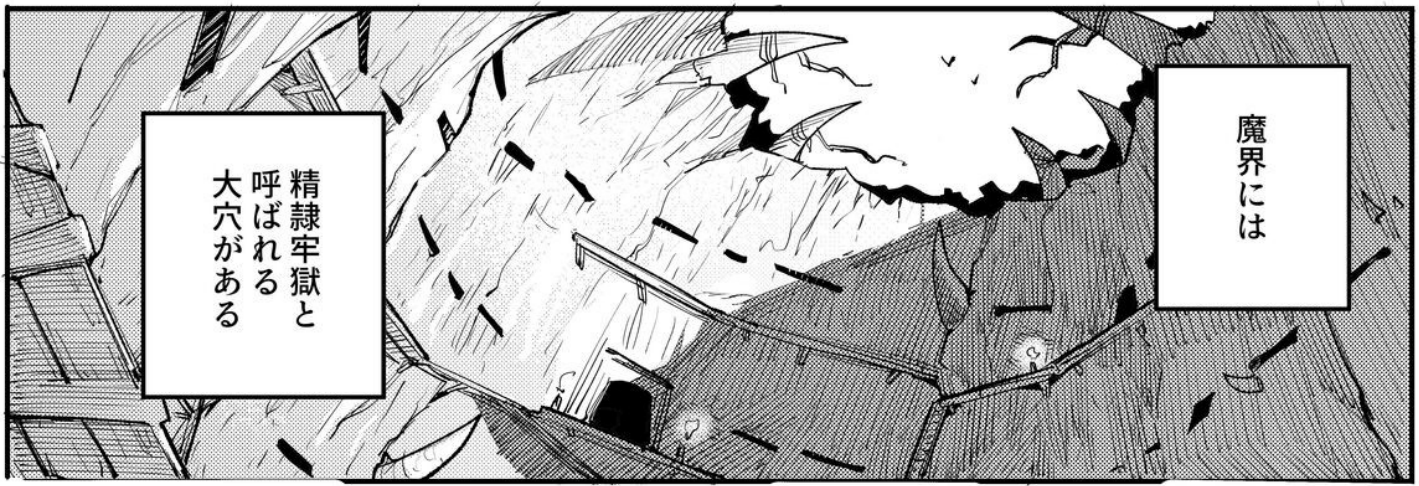
真名にかけ  
この屈辱的な  
宣言を行う

屈服の証として  
この孕み袋を  
捧げる

それ以外の  
機能を  
そぎ落とし

征服者の肉体と  
魔力を育み  
産道で祝福する





魔界には

精隸牢獄と  
呼ばれる  
大穴がある



際限なく魔物を  
吐き出し続ける  
そこは

牢獄と  
いうよりは  
工場



ちゅっ  
れろ ♡ ♡

♡ ちゅうっ

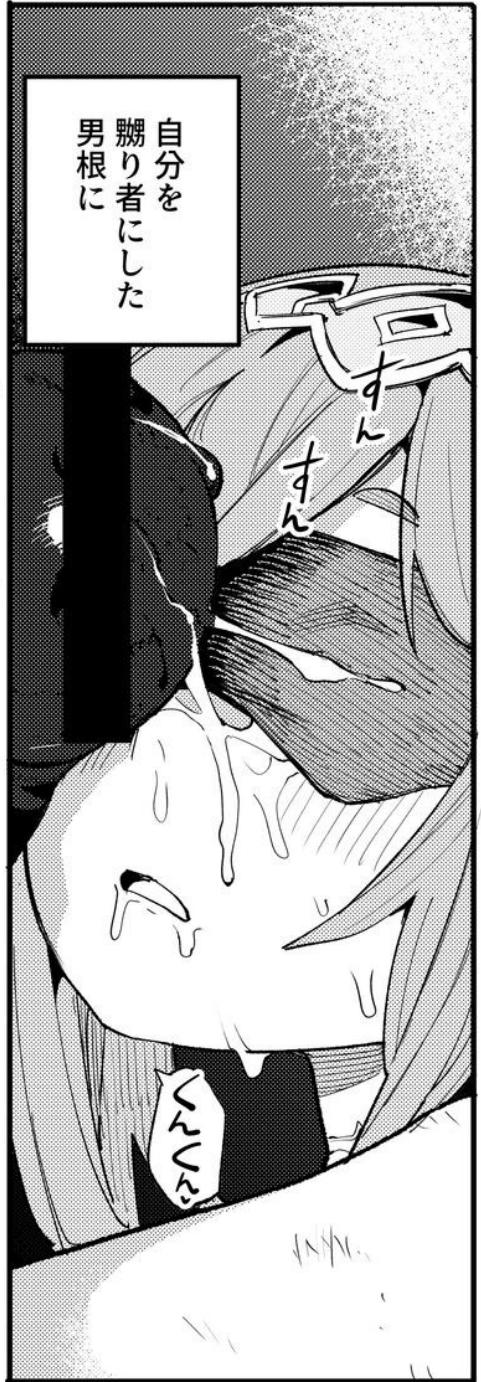
墮落とは



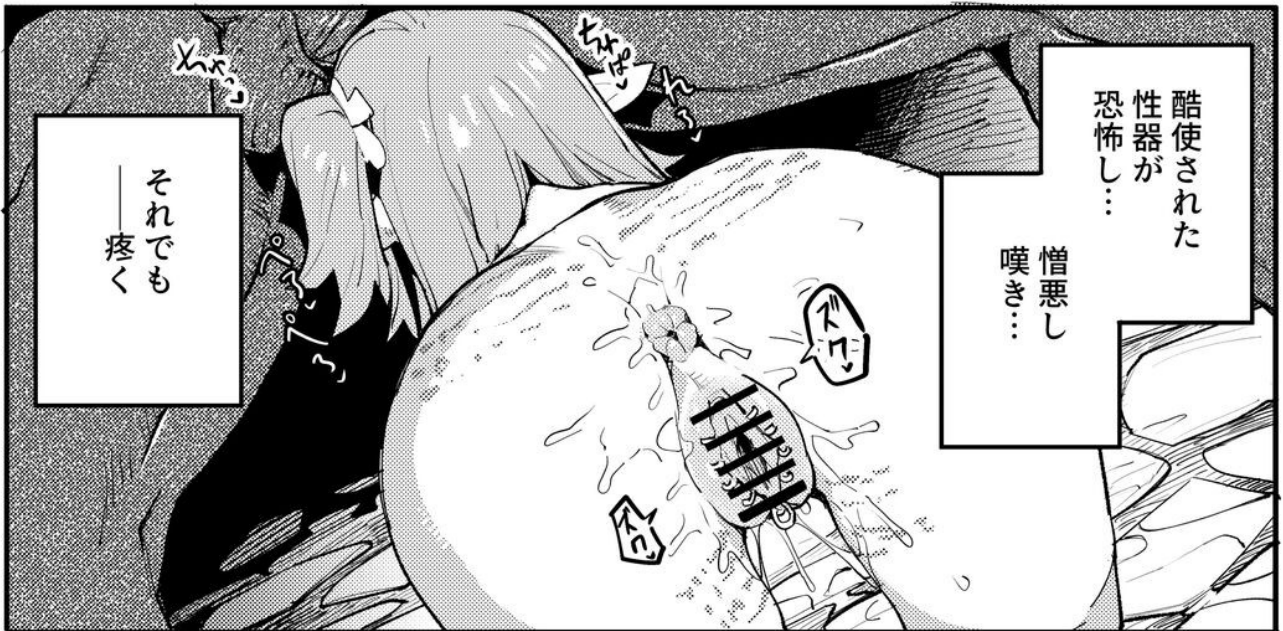
媚びるようになること



孕ませ  
征服した  
男根に



自分を  
男根に  
男根に



それでも  
——  
疼く

酷使された  
性器が  
恐怖し…  
憎悪し  
嘆き…

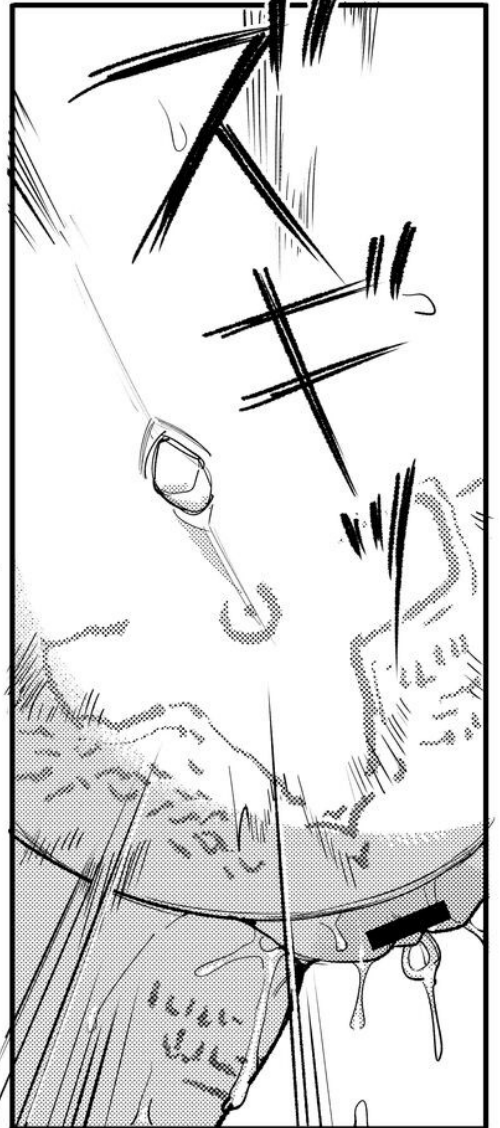
私はもう  
精霊などでは  
なく

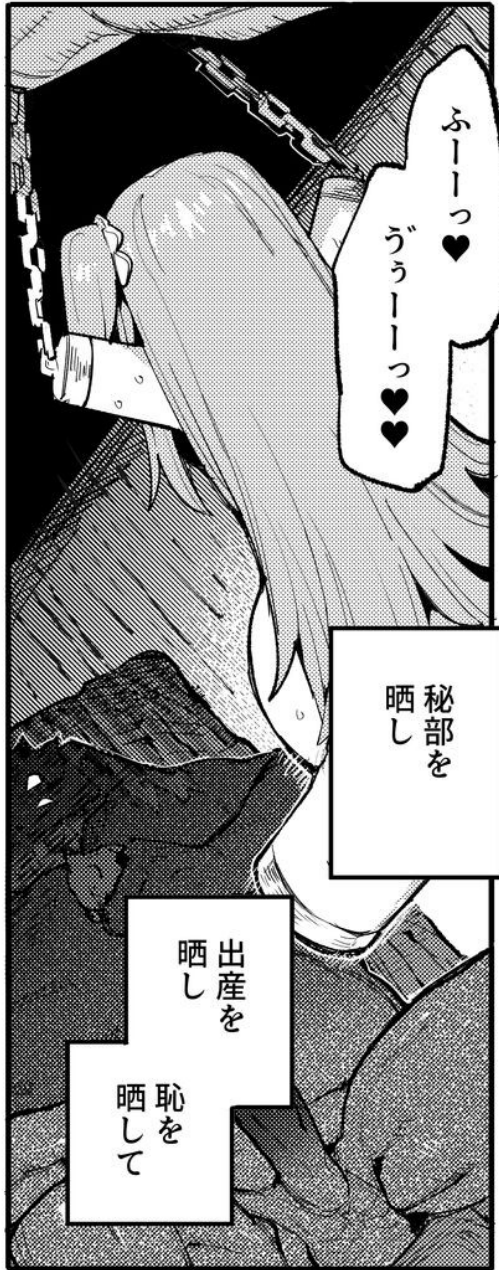
精を啜り  
魔族を産む  
……肉畜♥

その  
墮落さえも  
……熱い♥



もうあの森も  
思い出せない





ふーっ♡  
うーっ♡♡

秘部を  
晒し

出産を  
晒し

恥を  
晒して



孕み袋に  
墜ちた  
ことを

宣言  
するの



ふーっ♡

ふーっ♡

性交と  
出産だけが  
全て



疲弊しきって  
やっと：  
出産できる♥



カラダが  
未成熟で  
：

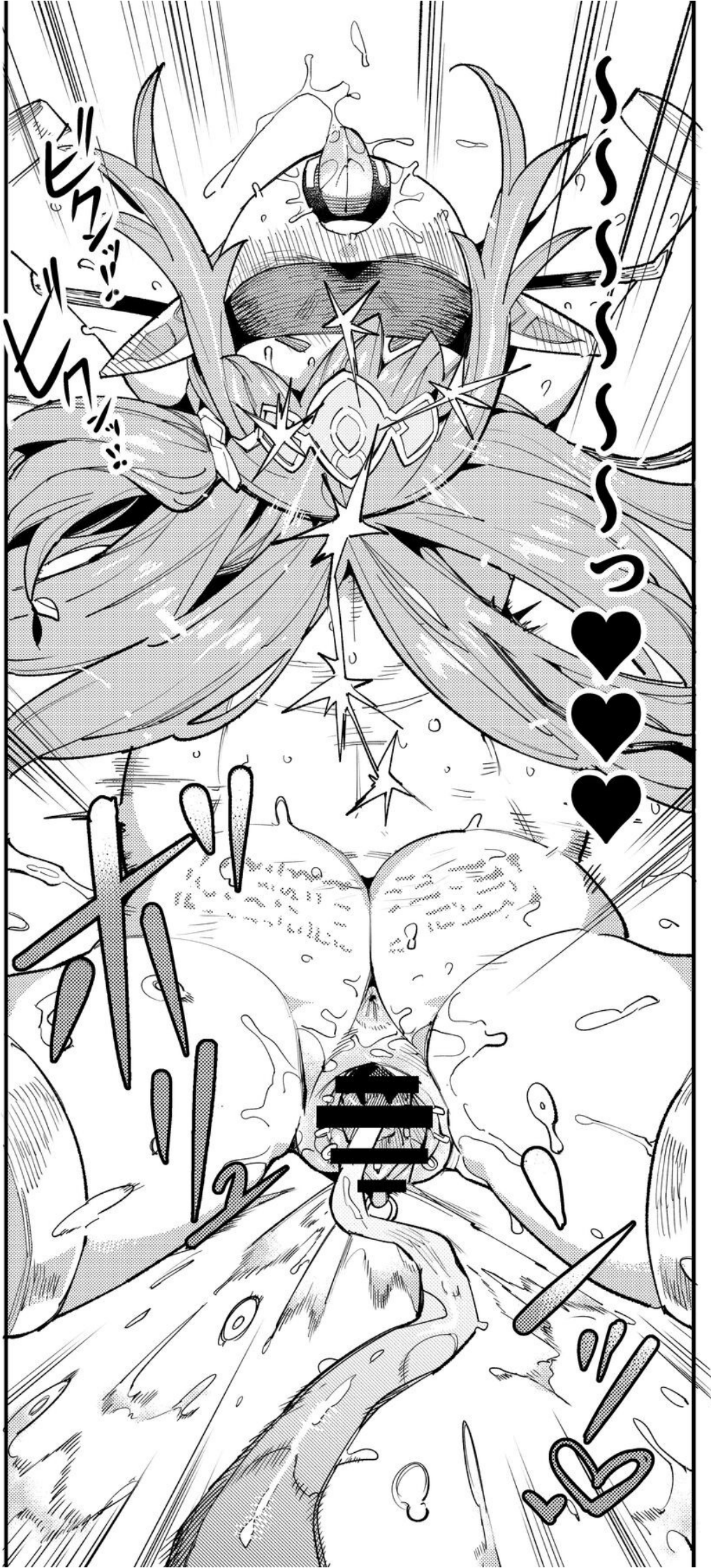
難産：  
ばかり♥

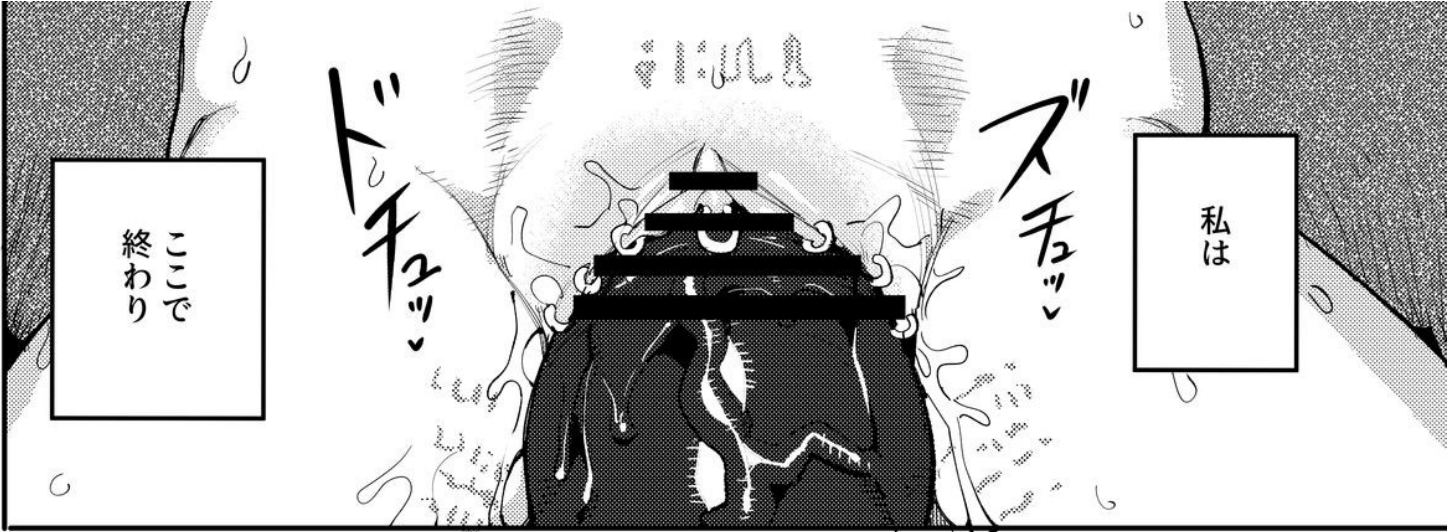


ああ：  
また産んで  
証明する♥

私が：孕み袋に  
頭がついただけの  
肉だっ♥

はあ  
……♥♥♥





ここで  
終わり

私は



ここにあるのは  
ただ魔物の  
男根に尽くす  
精液便器

私はこの  
暗く深い  
穴の底で

森を守る  
どころか

穢されきった  
子宮の疲弊を  
膣穴で叫び  
続けるのだろう

大地を魔で  
満たすための  
出産装置

きっと  
永遠に――